

3 各学年のプログラムの実際 (●印：(一財)前田一步園財団の所有地を活用しての活動/■印：学校での活動)

<p style="text-align: center;">【第1学年】</p>  <p>■ 附小の森（敷地内にある林）をフィールドとした四季を通じての自然体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原体験の拡大 ・ 自然のすばらしさや生命の大切さの感得 	<p style="text-align: center;">【第4学年】</p>  <p>● 川の水の始まりを探す活動（下流から上流へ） ● 湧水の観察 ● ザリガニの観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に対する問題を見だし追究する態度 ・ 自分たちの生活とのかかわりを意識
<p style="text-align: center;">【第2学年】</p>  <p>● 自然散策（春） ● クロエゾマツの植樹など ● 自然散策（秋） ● キノコ探しなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境や事象に対する感受性や興味・関心の向上 	<p style="text-align: center;">【第5学年】</p>  <p>● 川の観察 ● 上流と下流の様子を比較 ● 流れの速さを体感 ● 枝打ち体験 ● 林業について、間伐材の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全に対する意識の向上 ・ 自然に対する畏敬の念
<p style="text-align: center;">【第3学年】</p>  <p>● 昆虫採集・観察 ● 水辺での遊び（マリモについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な生物の存在を実感 ・ 環境に進んでかかわろうとする態度 	<p style="text-align: center;">【第6学年】</p>  <p>● エゾシカを視点とした生態系の理解 ● エゾシカ被害にあった樹木の観察 ● 樹脂ネットの巻き付け体験 ■ 給食での「エゾシカ肉」の試食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境を多面的に捉える ・ 物の連鎖や循環という視点から、より主体的に環境とかかわろうとする態度

4 成果と課題

- 毎年継続して、同じ環境に関わっていく中で、その学年の学習に応じた自然の素晴らしさや抱えている問題に触れることができ、そのことによって、環境に対する見方や考え方を広げたり、深めたりすることができている。
- 休日などを利用して自分たちが活動したフィールドに家族と足を運び、自分の活動したことを伝えたり、自分の興味を持ったことをさらに追究したりする児童の姿が見られている。